

中部国際空港沖公有水面埋立事業環境影響評価準備書
 についての留意事項

1 全般的事項

論 点	関連 ページ
工事期間が32年と長期にわたる計画であることから、工事の進捗状況や周辺環境の変化等により様々な環境影響が想定されるが、環境監視調査の具体的な計画が明らかになっていない。	P. 2-4

2 大気質、騒音

論 点	関連 ページ
工事の実施に伴う大気質及び騒音による空港島における影響が懸念される。	P. 8. 1-40 P. 8. 2-23

3 動物、植物

論 点	関連 ページ
<p>工事の実施に伴う影響が長期間継続する計画であること、埋立地の存在に伴い、伊勢湾の中でも特に生物の生産性が高く多様な生物の生息・生育の場である空港島西側の海域が減少することに加え、スナメリやアカウミガメ等の重要な種も確認されていることから、海域の動物及び植物の生息・生育環境への影響が懸念される。</p> <p>また、これら海域の動物及び植物への影響については、予測の不確実性が大きいと考えられる。</p>	P6-1 P8. 8-145 P8. 8-171 P. 10-2